



2026年10月16日
株式会社名古屋銀行
株式会社静岡銀行

「静岡・名古屋アライアンス」を活用した物流施設への投融資について ～2つのアライアンスの枠組みを生かし、地域の物流・産業を支援～

名古屋銀行（頭取 藤原 一郎）、静岡銀行（頭取 八木 稔）は、「静岡・名古屋アライアンス」と「富士山・アルプス アライアンス」の枠組みを生かし、静岡県掛川市の物流施設「静岡掛川ロジスティクスセンター」を投資対象とする不動産私募ファンド（※1）に対し、投融資を実施しました。

本件では、名古屋銀行、山梨中央銀行、八十二長野銀行および他数社が不動産ノンリコースローン（※2）を提供し、静岡銀行および他1社が匿名組合出資を行いました。また、しずおかフィナンシャルグループのSFG不動産投資顧問（社長 渡邊敬博＜※3＞）が、本ファンドのサブアセットマネージャー（※4）として業務の一部を受託しています。

「静岡掛川ロジスティクスセンター」は、東名高速道路「掛川インターチェンジ」から北東約5.5km、国道1号線「千羽インターチェンジ」から南約1.3kmの新エコポリス工業団地内に位置します。首都圏と中京圏を結ぶ地域に立地する物流施設に対し、各行が融資・出資の両面から資金を供給することで、安定的な運営を金融面から支えます。

両行は今後も、各行の知見やネットワークを生かした連携を深め、地域産業の発展と地域経済の持続的な成長に貢献してまいります。

「静岡掛川ロジスティクスセンター」の概要

物件名称	静岡掛川ロジスティクスセンター
所在地	静岡県掛川市逆川字大藪
竣工時期	2025年11月
敷地	14,629.35 m ²
延床面積	20,147.38 m ²



〈センター外観〉

※1 出資・融資により調達した資金を活用し、不動産信託受益権を取得・運用する仕組み

※2 特定の事業や資産から生じるキャッシュフローのみを返済原資とする融資で、返済は原則として担保の範囲内に限定される

※3 金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第203号／投資助言・代理業／加入協会：一般社団法人資産運用業協会

※4 アセットマネージャーが行う業務のうち、金融商品取引業および宅地建物取引業などの法令上登録・免許を必要とする業務以外の補助業務を受託する事業者